

「まちに開かれた芸術文化拠点」を目指す京橋彩区が開催する芸術文化講座。2020年度第5回は「美術館にライオンがいる—大人も楽しむ小学生向けギャラリートーク」です。アーティゾン美術館教育普及部長の貝塚さんをお招きし、美術館の意外な側面をお話して頂きます。

< 2020年度第5回 >

美術館にライオンがいる —大人も楽しむ小学生向けギャラリートーク

美術館にはいろんな人がやってきます。ある日、近くの小学校の図工の先生から電話が。「今度、1年生を連れて行くので、“美術館が嫌いにならないような話”をよろしく」。苦心して組み立てたギャラリートークが、古代美術を使っていろいろな動物(特にライオン)を探すというもの。最後には1年生たちに、「学校に帰りたくない」と言わせるくらい楽しんでもらいました。その後展示室で、他の小学校の児童たちに繰り返し話しているうちに、たまたま居合わせた大人も、飛び入りで聞いてくれたりしました。なかには、「私は小学生レベルだから、とても楽しめました」という会社員も。そこでときどき、大人向けに少しアレンジして実施しています。「美術館ってこんなこともやっているんだ」ということを知っていただければ幸いです。

日 時：2020年10月14日(水) 18:30～20:00

会 場：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
「オンライン講座」としてYouTubeにて配信します。

定 員：100名(お申し込み順)

参加料：無料

申込方法：右上の**リンクボタン**(またはQRコード)よりお申し込みください。
京橋彩区のフォーム(<https://bit.ly/3kXcUwF>)からのお申し込みも可能です。

▶ お申し込み(Peatix)



※今後の状況により、延期・中止をさせて頂く場合もございますので、あらかじめご承知置きください。

< 講師 >



公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館 教育普及部長 貝塚 健氏

1989年、プリチストン美術館(現アーティゾン美術館)学芸員。学芸課長、学芸部長を経て2018年から教育普及部長。

専門は日本近代美術史、美術館教育、博物館学。

企画担当した主な展覧会に、白馬会展(1996)、藤島武二展(2002)、坂本繁二郎展(2006)、岡鹿之助展(2008)、安井曾太郎の肖像画(2009)、青木繁展(2011)、描かれたチャイナドレス(2014)など。